



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン
コード番号 9027 URL <http://www.loginet-japan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 輝美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画広報担当部長 (氏名) 斎藤 恭祐

TEL 011-251-4112

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	40,378	△0.2	1,807	52.9	1,783	50.9	1,272	17.3
28年3月期第3四半期	40,439	1.2	1,182	95.1	1,182	96.5	1,085	135.6

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 1,585百万円 (54.3%) 28年3月期第3四半期 1,027百万円 (98.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	104.27	—
28年3月期第3四半期	88.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	32,045	8,678	26.6	698.57
28年3月期	31,320	7,216	22.6	579.56

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 8,528百万円 28年3月期 7,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	1.5	2,030	30.1	2,000	28.2	1,350	6.1	110.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	14,021,363 株	28年3月期	14,021,363 株
29年3月期3Q	1,813,198 株	28年3月期	1,812,593 株
29年3月期3Q	12,208,514 株	28年3月期3Q	12,210,837 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱含みが見られるものの概ね緩やかに回復し、企業業績や個人消費も安定的に推移いたしました。一方海外においては、米国次期政権の保護主義経済政策の懸念や、英国のEU離脱問題、新興国経済の減速などもあって、依然として先行き不透明な状況となっております。また、物流業界においてはドライバー不足及び高齢化問題が一層深刻化するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは年度当初に発表した中期経営計画に基づき、新たな事業分野への参入や本州地区での積極的な営業展開を行うとともに、既存の物流網においては運用の改革を進めるなど、将来を見据えた事業展開をしております。また、西日本地区においては組織再編のシナジー効果を追求、さらなる経営基盤の強化にむけた施策を推進しております。

その結果、札幌通運グループにおいては、北海道地区では夏場の台風被害で農産物の発送が伸び悩んだことなどから業績向上には至らなかったものの、本州地区では引き続き新規事業の取扱増加や特別積み合せトラック部門の新店開設、適正運賃の收受などにより売上・利益ともに拡大し、営業収益は前年同期比3億5千1百万円増

(+1.2%)の291億6百万円、セグメント損益については前年同期比4億5千万円増(+64.3%)の11億5千万円となりました。

一方、中央通運グループにおいては、鉄道利用運送部門の業績が安定的に推移したことに加え、建設運輸部門の業績も安定した建設需要に伴って堅調に推移し、営業収益は前年同期比1億5千4百万円増(+3.2%)の49億7千6百万円、セグメント損益については前年同期比6千5百万円増(+22.6%)の3億5千7百万円となりました。

また、ロジネットジャパン西日本グループにおいては、前年度に実施した不採算事業からの撤退を含む事業所の統廃合により、営業収益は前年同期比7億1千3百万円減(△10.8%)の58億8千7百万円と減収になりましたが、組織再編によるシナジー効果及び抜本的な業務見直しによる改善効果に加え、自動車部品輸送の新規事業の獲得もあって、セグメント損益は前年同期比1億2千5百万円増(+56.9%)の3億4千7百万円と、第2四半期までと同様に、確実な業績改善基調で推移いたしました。

なお、セグメント情報につきましては、平成28年4月1日に実施した組織再編に伴い、従来「札幌通運グループ」に属していた札幌通運株式会社の中部以西の事業を「ロジネットジャパン西日本グループ」に移管しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

これらの結果、ロジネットジャパングループ全体の営業収益は、前年同期比6千1百万円減(△0.2%)の403億7千8百万円となりました。

利益面につきましては、株式会社ロジネットジャパン西日本の業績回復、札幌通運株式会社の本州地区での増収による利益増及び中央通運グループの安定した業績伸長により、営業利益は前年同期比6億2千5百万円増

(+52.9%)の18億7百万円、経常利益は前年同期比6億1百万円増(+50.9%)の17億8千3百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、これら営業利益・経常利益の増加により、前年同期比1億8千7百万円増(+17.3%)の12億7千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前期末から7億2千5百万円増加し、320億4千5百万円となりました。

このうち、流動資産は営業未収入金などの増加により3億6千7百万円増加し、127億8千6百万円となりました。また、固定資産は車両の取得などで3億5千7百万円増加し、192億5千8百万円となりました。

当第3四半期末の負債は、前期末から7億3千6百万円減少し、233億6千7百万円となりました。

このうち、流動負債は短期借入金の増加などにより7億4千9百万円増加し、185億6千7百万円となりました。また、固定負債は長期借入金の返済を進めた結果、14億8千5百万円減少し、47億9千9百万円となりました。

これらの結果、純資産は14億6千1百万円増加し、86億7千8百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は26.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては平成28年11月9日発表値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,929,329	3,553,417
受取手形	871,106	929,767
営業未収入金及び売掛金	6,377,605	6,555,229
たな卸資産	59,739	70,261
繰延税金資産	93,626	103,246
その他	1,095,853	1,584,249
貸倒引当金	△7,994	△9,650
流動資産合計	12,419,266	12,786,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,648,494	3,556,169
機械装置及び運搬具(純額)	4,416,215	4,780,226
リース資産(純額)	994,605	862,964
土地	5,971,093	5,979,279
その他(純額)	304,996	395,213
有形固定資産合計	15,335,405	15,573,854
無形固定資産	209,457	225,881
投資その他の資産		
投資有価証券	1,031,887	1,257,409
繰延税金資産	194,962	191,093
差入保証金	1,638,669	1,531,919
その他	526,427	498,977
貸倒引当金	△35,785	△20,251
投資その他の資産合計	3,356,160	3,459,149
固定資産合計	18,901,023	19,258,885
資産合計	31,320,290	32,045,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	918,203	891,505
営業未払金及び買掛金	4,820,338	4,864,480
短期借入金	8,769,118	9,138,784
リース債務	216,749	191,565
未払法人税等	509,872	163,190
役員賞与引当金	60,675	-
資産除去債務	-	66,767
その他	2,523,416	3,251,205
流動負債合計	17,818,373	18,567,498
固定負債		
長期借入金	4,594,484	3,247,574
繰延税金負債	211,515	255,397
リース債務	797,913	688,168
役員退職慰労引当金	170,230	188,760
退職給付に係る負債	200,939	215,464
資産除去債務	77,465	11,750
その他	232,681	192,494
固定負債合計	6,285,229	4,799,608
負債合計	24,103,603	23,367,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	567,929	567,929
利益剰余金	6,250,215	7,401,102
自己株式	△534,713	△534,987
株主資本合計	7,283,431	8,434,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△207,669	94,199
その他の包括利益累計額合計	△207,669	94,199
非支配株主持分	140,924	150,055
純資産合計	7,216,686	8,678,299
負債純資産合計	31,320,290	32,045,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業収益	40,439,626	40,378,167
営業原価	37,964,191	37,172,426
営業総利益	2,475,435	3,205,740
販売費及び一般管理費	1,292,998	1,397,753
営業利益	1,182,437	1,807,987
営業外収益		
受取利息	10,399	9,210
受取配当金	29,581	36,940
寮収入	29,374	31,603
その他	92,252	64,664
営業外収益合計	161,608	142,420
営業外費用		
支払利息	75,420	63,125
寮支出	61,657	65,806
その他	24,858	37,941
営業外費用合計	161,936	166,873
経常利益	1,182,108	1,783,534
特別利益		
固定資産売却益	537,392	-
投資有価証券売却益	137,597	22,869
特別利益合計	674,990	22,869
特別損失		
固定資産除売却損	1,817	6,773
減損損失	123,347	5,350
その他	39,750	163
特別損失合計	164,914	12,287
税金等調整前四半期純利益	1,692,184	1,794,116
法人税、住民税及び事業税	579,248	515,714
法人税等調整額	11,897	△4,788
法人税等合計	591,146	510,926
四半期純利益	1,101,037	1,283,189
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,709	10,214
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,085,327	1,272,975

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,101,037	1,283,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,459	301,868
その他の包括利益合計	△73,459	301,868
四半期包括利益	1,027,578	1,585,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011,869	1,574,843
非支配株主に係る四半期包括利益	15,708	10,215

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	28,754,686	4,822,444	6,600,900	40,178,031	261,594	40,439,626
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,292,139	328,551	631,511	2,252,203	903,918	3,156,121
計	30,046,826	5,150,996	7,232,412	42,430,235	1,165,513	43,595,748
セグメント利益	700,235	291,240	221,284	1,212,760	443,244	1,656,005

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は470,318千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,212,760
「その他」の区分の利益	443,244
受取配当金の消去	△470,318
その他の償却額	△3,250
四半期連結損益計算書の営業利益	1,182,437

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

札幌通運グループの釧路支店の資産グループにおいて、市場価格の著しい下落および営業収益の大幅な低下が認められるため、当該資産グループに係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額123,347千円を減損損失として計上いたしました。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	29,106,261	4,976,695	5,887,352	39,970,309	407,858	40,378,167
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,198,492	344,341	659,200	2,202,035	929,600	3,131,636
計	30,304,754	5,321,037	6,546,552	42,172,345	1,337,459	43,509,804
セグメント利益	1,150,712	357,189	347,147	1,855,050	426,888	2,281,939

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は472,290千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,855,050
「その他」の区分の利益	426,888
受取配当金の消去	△472,290
その他の償却額	△1,661
四半期連結損益計算書の営業利益	1,807,987

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ロジネットジャパン西日本グループが運営するゴルフ練習場の資産グループにおいて、閉鎖の意思決定をしたことにより当該資産グループに係る固定資産の回収可能価額が大きく低下したと判断したため、当該資産グループに係る資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、5,350千円を減損損失として計上いたしました。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は平成28年4月1日をもって西日本・中部地区での事業シナジー追求と総物流の営業力強化、またグループのガバナンス体制の強化を目的として、札幌通運株式会社の中部以西の事業を分割し、株式会社ロジネットジャパン西日本に統合する組織再編を行いました。

第1四半期連結会計期間より、この組織再編に伴い、従来「札幌通運グループ」に属していた札幌通運株式会社の中部以西の事業を「ロジネットジャパン西日本グループ」に移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。